

個人経営の飲食店応援プログラムについてよくある質問

プログラム概要

1. 飲食店オーナー/経営者の応募期限はいつですか？

本プログラムは、2024年4月11日午前10時（米国東部時間、以下「ET」）に開始します。応募の締め切りは2024年5月30日午後11時59分 (ET) です。

2. 選考プロセスについて教えてください。

応募者は[IDA財団ウェブサイト](#)から応募することができます。まだsubmittable.comのアカウントをお持ちでない応募者は、応募するためにアカウントを作成する必要があります。アカウントの作成は無料で、適用されるすべてのSubmittableの規約が適用されます。IDA財団が以下の優先的に考慮される優先基準に基づき、最終候補者を決定します。

3. 助成金の支給額はいくらですか？

助成金額は都市ごとに異なり、詳細は以下の通りです：

- 大阪および東京 - 受給者7名*にそれぞれ210万円
- ロンドンおよびマンチェスター - 受給者20名*にそれぞれ11,000英ポンド
- メキシコシティ - 受給者10名にそれぞれ10,000米ドル相当のメキシコドル
- メルボルンおよびシドニー - 受給者10名*にそれぞれ21,500豪ドル
- モントリオールおよびトロント - 受給者20名*にそれぞれ19,500カナダドル

選出された飲食店は、IDA財団との間で助成金の利用規約をまとめた助成金契約を締結します。

*両都市の総受給者数を表します。

4. 応募者を審査する際の資格基準を教えてください。

対象となる小規模飲食店の助成金資格基準は、以下のとおりです：

- プログラム対象となる9都市（大阪、東京ロンドン、マンチェスター、メルボルン、メキシコシティ、モントリオール、シドニー、トロント）のいずれかに所在している
- 現在営業中である
- 小規模/独立経営のレストラン、カフェ、バー、またはパブで料理を提供し、5店舗以上のフランチャイズに属していない
- 2023年の年間売上高が以下の金額を下回っている：
 - 大阪と東京で2億5,000万円
 - ロンドンとマンチェスターで100万英ポンド
 - メキシコシティで2,000万メキシコドル

- メルボルンとシドニーで 200 万豪ドル
- モントリオールとトロントで 150 万カナダドル

その後、上記の基準を満たした飲食店について、次の審査を行います。以下に最も当てはまる飲食店が優先されます：

- 助成金の使途および飲食店に与える影響についての明確な説明。
- 助成金は 4 か月以内に早急に活用されなければならないこと
- 近隣住民のアイデンティティや地域社会の関わりへの貢献
- 飲食店が面する困難についての説明
- 人種や性別、障がいの有無など、他者と比較し挑戦が多いと感じている飲食店経営者が所有および/または運営していること

助成金の対象となるためにアメリカン・エクスプレス決済を受け付けている必要はありません。

5.プログラムのタイムラインを教えてください。

- 4月11日：午前10時（ET）より応募受付開始
- 5月30日：午後11時59分（ET）に応募締め切り
- 6月：最終候補者への通知開始 - 追加書類の提出依頼
- 7月：選出された飲食店への通知
- 8月：選出された飲食店の公表
- 8月～11月助成金給付
- 12月：プロジェクト完了

6.選出された助成金受給者への通知プロセスを教えてください。

助成金受給者には、7月中旬に電子メールまたは電話でご連絡します。応募多数のため、助成金受給者に選ばれなかった方への個別のご連絡はいたしません。

応募者には、さらなる説明や詳しい助成金の使途などの追加資料の提出を求める連絡をすることがあります。

7.助成金はどのように給付されますか？

助成金は以下の通り、2回に分けて給付されます：(1) 署名入り助成金受入書の受領時に3分の2が給付され、(2) 残りの3分の1はIDA財団が最終の経費報告書およびデータ報告書を受領した後に給付されます。

8.助成金受給者が遵守しなければならない報告要件について教えてください。

助成金受給者は、現地パートナーおよびIDA財団と協働し、初回助成金給付時に一部のベースラインデータを提供します（例：収益、従業員に関するデータなど）。助成金受給者は遅くとも2024年12月31日までに、助成金が事業にどのように役立ったかを報告し、本助成金の受給によって実現した変化を示すデータを提供する必要があります。

9.国際的な小規模飲食店を支援するための現地パートナーの役割は何ですか？

IDA財団の助成金プログラムにおける現地パートナーは、私たちのパートナーとして助成金プログラムの認知度を高めるためのマーケティングやアウトリーチ活動、選考プロセスに関する助言、助成金受給者のサポート、および助成金給付後の助成金応募に関するデータ収集などを行います。現地パートナーには、英国のAssociation for Town and City Management、Fundacion Placemaking Mexico、IDA Canada、Japan Area Management Network（全国エリアマネジメントネットワーク）、Mainstreet Australiaが含まれます。

10. International Downtown Association Foundation（国際ダウンタウン協会財団）について教えてください。

IDA財団は、ワシントンD.C.を拠点とする国際ダウンタウン協会の非営利部門で、豊かな都心部、商業地区、およびすべての人にとって住みやすい都市を作るために、知識、研究、公共政策を駆使して、そのような都市の環境づくりを担うリーダーを支援しています。詳細は<https://downtown.org/foundation>をご覧ください。

その他のご質問は、IDA財団のキャシー・リン（cathy@downtown.org）にお問い合わせいただくか、IDA財団（Whatsapp : +1 (202) 656-5541）までお電話またはメッセージにてご連絡ください。

対象者

1. 応募資格について教えてください。

大阪、東京、ロンドン、マンチェスター、メルボルン、メキシコシティ、モントリオール、シドニー、トロントにあるレストラン、パブ、バー、カフェで、上記の応募資格に該当する飲食店であればどなたでも応募可能です。以前に個人経営の飲食店応援プログラムの助成金を受給したことのある方は選考対象外となります。

2. 誰が助成金を受け取るのですか？

助成金は飲食店の経営者に直接給付されます。

3. この助成金が特に給付対象とする人々はいいますか？

本助成金プログラムは過小評価されているグループおよび/または地域社会の経済的に脆弱な一員が所有および/または運営する飲食店を重視していますが、それらに限定するものではありません。この定義は各都市によって異なりますが、広義には、困難に直面しているオーナー/経営者、女性、有色人種、LGBTQIA+、先住民族、移民などが挙げられます。

4. 具体的に決められている助成金の使途はありますか？

助成金は、飲食店が長期的に事業を継続するために必要となる重要なビジネスニーズに使用されなければなりません。可能な使途としては、デジタル機能の強化、屋外飲食スペースの設置、新しい機器の購入、その他の物理的な改善など、事業継続のために必要となる重要な改善が挙げられます。水道光熱費は可能な使途に入りますが、助成金の15%を超えてはなりません。応募者は、応募フォームに助成金使途計画の概要を記入する必要があります。

賃料、給与、ローンの支払い、食料品、アルコール類は助成金使途の対象外です。

5.複数の飲食店を営んでいる場合、複数の飲食店に対して助成金を申請できますか？

複数の飲食店を所有するレストラン・オーナーは、所有する店舗のうち5店舗まで助成金を申請できますが、助成金を受給できるのは1店舗のみです。それぞれの飲食店が独自のコンセプトを持ち（つまり、同じメニューを提供する複数の店舗を持つ飲食店ではない）、上記の資格基準を満たしていなければなりません。